

## 令和5年度 学校関係者評価報告書

### 1 学校の教育目標

自動車・機械・建築及び情報処理・生命工学を中心とする工業分野で役立つ人材を育成し、我が国の産業の発展に寄与する。

### 2 学校の教育目標や計画に対する評価・意見

#### (1) 教育理念について

専門分野に精通する真の技術者が求められる時代となり、建学の精神「個性の伸展による人生錬磨」のもと、個性＝専門性という位置づけで各職員が一体となって教育を実施されている。

#### (2) 資格の取得について

全ての学科において柱となる資格が不明確である。カリキュラムと資格についての関連性を一度見直す必要があると考える。

#### (3) 実社会に適応し得る技術の習得

常に進化を続けている各業界で活躍するために、実務経験豊富な先生方が実際に現在の現場に必要な知識・技術をしっかりと教育されている。それを実践するために講師会を開催し年度の方針や考え方について共通認識をもち、意思疎通を図っている点は評価できる。ただ、一部の学科で授業の難易度と学生の理解度が乖離している部分が見受けられるので改善PC等の機材について新規に取得し、引き続きより良い環境の整備に努めてほしい。

#### (4) 組織人として必要な企業活動への積極的な姿勢の修得

インターンシップ制度を上手く活用し、社会を経験する機会がある。また、ビジネスマナー教育を有効活用し、社会人として社会に送り出す態勢が取られている。

#### (5) 国際的感覚を持った社会人の育成

勉学意欲旺盛な留学生の入学により、国際的な感覚を持った社会人の育成に努力されている。日本人と留学生の交流によって様々な国の文化や風習、言葉等を知ることができている。

#### (6) 豊かな人生を送るための素養の涵養

教育・人間関係・規律等、様々な角度から社会人になるための教育を実施し人としての成長を涵養。

### 3 評価項目の達成及び取組状況

< 評価点 : 4 適切、 3 ほぼ適切、 2 やや不適切、 1 不適切 >

(1) 教育理念・目標	: 3.8
(2) 学校運営	: 3.4
(3) 教育活動	: 3.5
(4) 学修成果	: 3.5
(5) 学生支援	: 3.5
(6) 教育環境	: 3.5
(7) 学生の受入れ募集	: 3.8
(8) 財務	: 3.9
(9) 法令等の遵守	: 3.9
(10) 社会貢献・地域貢献	: 3.2
(11) 国際交流	: 3.8

### 4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

#### (1) 良好な点

ア 事業計画を策定し計画に基づき運営が行われている。教育活動等に関する情報公開についても適切に実施されている。

イ 教務・学生・就職・広報各課と担任間で学生支援の体制がとれている。

ウ 授業観察の実施により教育のマンネリ化を防ぐ一助となっている。

エ 多数の企業からの求人が頂けており学生の選択肢が広がっている。また、学内における企業説明会も開催できミスマッチを減らすとともに企業との連携を密にすることができている。

オ 名古屋駅周辺地区の都市再生保全確保計画の大規模震災時における臨時退避施設（一般教室の提供）に参加するなど、地域社会への貢献に努めている。

カ 中規模校の特徴を生かすべく、一人ひとりに向き合った指導ができている。

キ 適切な冷房等の使用、不要な照明の間引き、消灯等により節電に取り組んだ。

ク 留学生の在籍管理や学修・生活指導等についてしっかりとした支援体制が取られている。

#### (2) 改善すべき点（要望・意見含む）

ア 留学生の日本語能力が以前と比し向上はしているが、まだまだ不足している。

イ 30年以上経過した校舎・エレベーターのメンテナンスが必要である。

ウ PCの更新が不十分である。

エ 少子化に伴い四大との差別化をはかり学生を確保していく必要がある。

オ 社会貢献が不十分と考えるので、まずは地元の小さなエリアから地域貢献活動を行ってもらいたい。